

農林大学校だより	No. 76
	令和7年10月27日
	東北農林専門職大学 附属農林大学校 〒996-0052 新庄市大字角沢 1366 TEL : 0233-22-1528 FAX : 0233-23-3119 HP : https://tpuaf.ac.jp/college/



附属農林大学校として2年目を迎えて

校長 今田 匡彦



今年、東北農林専門職大学附属農林大学校として2年目を迎えております。学生定員を1学年60名から40名に変更してからも2年目となります。学生たちは新校舎において生き生きと学習に取り組んでおり、これもひとえに多くの方々のご支援とご理解のおかげであり心より感謝申し上げます。

さて、改めて本校の特長を考えてみますと、教職員が県の普及指導員であり、普及課や各試験場等での勤務を経験し、本県の農林業に精通しており、その知見を活かし、日々の学習指導にあたっております。また、校訓である「師弟同行」の精神のもと、実習においては、教職員と学生がまさに共に実践し、共に汗を流す学びにあると感じております。このような取り組みにより学生との間に強い信頼関係が築かれ、卒業後の営農相談等に結び付き、本県農林業の発展に寄与していることは言うまでもありません。

全国の農林大学校の現状をみますと、ほとんどが定員割れに悩んでおり、学生確保に苦慮している状況です。しかし、本校はおかげさまで定員を満たし、将来の若き農林業の担い手を育成しております。今後ともひとりでも多く農林業に携わる人材を育成し、本県農林業の発展に貢献できるよう努めてまいります。

1 学年

各学科の様子と意気込み

稲作経営学科一年生は11名という大人数ですが、みんなで和気あいあい、日々楽しく授業や実習に取り組んでいます。春の育苗から田植え、稲刈り等、稲作の基礎基本だけではなく、GAPや生産物販売など幅広く学んでいます。



(稲作経営学科)

果樹経営学科1年は、男子9名、女子2名、クラスの仲ではほかの学科に負けないと思えるほどの絆をもっています。これからも11人で協力しあって、楽しく、ふざけあい、笑いあいながら過ごしていけるようにしていきたいです！



(果樹経営学科)

野菜・花き経営学科野菜コースの1学年は男子8人、女子2人で実習を頑張っています。夏はトマトやナス、秋は白菜やブロッコリーなど、一年を通して様々な作物を栽培し、収穫しています。みんな仲良く楽しい学科です。



(野菜・花き経営学科 野菜コース)

花きコースでは花き栽培の技術や知識を学んでおり、先輩や先生方が優しく、分かりやすく教えてくださいます。1学年は1人ということで大変な作業もありますが、先輩方のフォローのおかげもあって、楽しく実習を行っています。



(野菜・花き経営学科 花きコース)

畜産経営学科では、家畜飼養の基礎的な知識と技術を学習しています。1学年は男子4名と少ない人数ですが、みんな仲良く協力しながら日々の管理作業や実習に取り組んでいます。毎日ウシとふれあいながら、楽しい学生生活を送っています。(畜産経営学科)



農産加工経営学科1学年は男子1名、女子2名の合計3名で学んでいます。加工技術だけでなく、原料となるトマトやシソの栽培、製品を販売するためのマーケティングなども学んでいます。基本的な知識をしっかりと学び、卒業論文に繋げていきたいと思っています。

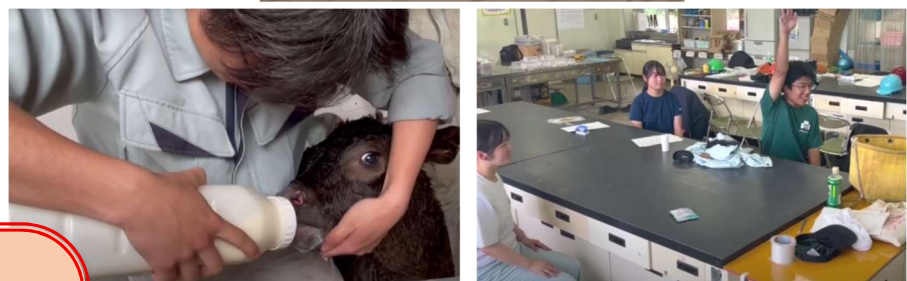


(農産加工経営学科)

林業経営学科1学年は、元気な男子5名で日々の学習に取り組んでいます。基本的な森林についての知識を勉強し、実習では森林機械の安全な操作方法等を講師の方から学び、互いに協力しながら将来に向けて頑張っています。



(林業経営学科)



学科紹介の動画を作成しました

本校では、授業の一環として、各学科・コースを紹介する動画を作成しています。今年度も1学年が講師の指導のもと、自ら企画・構成、撮影、編集を行い、個性あふれる映像が完成しました。動画はYouTubeで公開していますので、学生達の充実した学びの様子をぜひご覧ください。

山形農林大学校 YouTube

<https://www.youtube.com/@山形農林大学校/featured>



2学年

卒業論文の取り組み

夏季の高温対策として田植えを遅らせて出穂時期を遅らせる晩植栽培に挑戦しています。この方法で品質を確保することができれば大規模農家での作期分散にも役立つのではないかと考えています。

(稲作経営学科 黒澤碧佐)



ネットメロンの6果どりと作業性軽減を目指した試験を行っています。6果どりで面積当たり収量増加のために葉数と子づるの本数を増やし、作業性軽減では放任栽培品種を活用して作業性と作業時間の軽減を試験しています。

(野菜・花き経営学科
野菜コース 大久保達希)



サクランボを栽培するにあたって、この頃は高温障害の小玉果、着色不良等が多いため肥大促進や着色をよくするために高酸度食酢イーオス・アルガミックスの葉面散布剤を活用した試験を行いました。

(果樹経営学科 横沢真奈花)



ベニバナの出荷期拡大と需要調査に取り組みました。花の需要期である8月に出荷出来るよう短日処理を行い、また、秋出しに適した播種日を検討しています。現在はデータをまとめながら論文作成を行っています。

(野菜・花き経営学科
花きコース 柳橋 舞)



黒毛和種の子牛と繁殖牛の調査を行っています。子牛は、哺乳方法の違いが発育に及ぼす影響について、繁殖牛は、給与飼料を変更し栄養状態を改善することで分娩の間隔を短縮できないか調査しています。

(畜産経営学科 深瀬 和華)



さくらんぼを使った加工品開発を行っています。さくらんぼのドレッシングを製造する過程で発酵を利用して商品開発を行い、山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」に出品しました。

(農産加工経営学科 鈴木 尊)



農大伐木技能評価基準の設定による伐木技能及び安全性向上をテーマの卒論に取り組んでいます。森林組合へのアンケートや現地調査を通して伐木技能評価への取組状況を把握しました。林業技能検定やJLCを参考に、農大の伐木技能評価基準(案)を設定していきます。

(林業経営学科 柿崎 啓太)



卒業論文中間検討会を開催しました

2学年がプロジェクト学習の一環として取り組んでいる卒業論文の中間検討会を7月15日に開催しました。中間検討会では、関係機関からの助言者も交え、これまでの取り組み状況や今後のポイントについて、活発な意見交換が行われました。

学生は、今後も担任の指導のもと積極的に実践的な学習に取り組んでいきます。

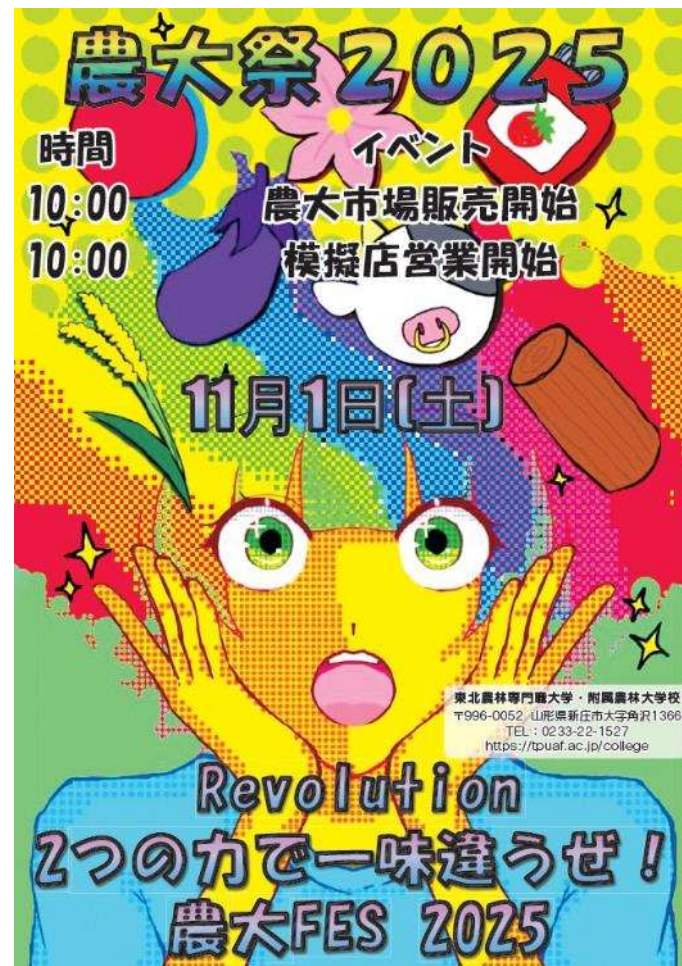


今年の農大祭は11月1日！

来たる11月1日（土）に、毎年恒例の「農大祭」を開催します。今年も東北農林専門職大学と同日開催で、学生たちは一体となって日々機運を高めています。

当日は、今年度最後の農大市場として各学科自慢の農産物、加工品等の販売を行うほか、学生が取り組んでいる卒業プロジェクトの概要のポスター展示や各学科による模擬店の出店があります。

ご家族皆様で農大祭に来ていただき、学生たちの日頃の学習の成果や、学校生活の様子等をぜひご覧ください。



大学校の近況

球技大会を開催（5月8日）

球技大会は、農林大学校の学生たちが日ごろの学業の合間にリフレッシュし、親睦を深めるための重要な行事です。

バレーボール・バドミントンなどの競技が行われ、学科や学年を越えたチームが熱戦を繰り広げました。普段は農作業や卒業論文などで頑張っている学生が覇気のこもったサーブ、目が飛び出るほどの威力のスマッシュ、見ている側もとても面白かったです。男子女子ともに応援に熱が入り、農林大学校一同が絆と友情を高めあい学生生活の思い出になりました。



スタミナパーティーを開催（9月5日）

スタミナパーティーは、農大生と農大の先生全員で焼肉をする行事です。久々の開催だったため、準備する学生は勝手がわからず大変だったようです。

一人1パックずつ配られた「山形牛」に加えて、学生が育てたナスやピーマンなどを、加工科謹製の焼き肉のたれでおいしくいただきました。また、つや姫おにぎり、ぶどう等も提供され、美味しいものをおなか一杯食べて、夏の疲れを吹き飛ばしました。



農林大関係ホームページ・YouTube を御覧ください

◎ 東北農林専門職大学附属農林大学校ホームページ
<https://tpuaf.ac.jp/college/>

◎ 山形農林大学校 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/@山形農林大学校/featured>

◎ 山形農林大学校同窓会 ホームページ
<http://ynodai.com/>



農林大学校 HP



農林大 YouTube



同窓会 HP